

Local Communities and Nature Conservation

国際シンポジウム 地域に根差した自然保護

世界には、自然を守るための区域、いわゆる自然保護地域が数多く分布します。

たとえば、世界自然遺産、国立公園、ジオパーク、ユネスコエコパーク、サンクチュアリなどは、すべて自然保護地域に含まれます。このような自然保護地域の中や周辺には、そこを生活基盤とする人々が存在します。したがって、自然保護地域で保全活動を行う際は、そこに暮らす人々や地域社会からの理解と協力が欠かせません。

本シンポジウムでは、国内外より6名の専門家をお呼びし、世界における自然保護活動と地域社会との関係について様々な事例を紹介していただきます。専門家だけではなく、行政、学生、市民の方々など、地域に根差した自然保護活動に関心をもたれている多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場：筑波大学東京キャンパス134号室
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1



丸の内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度

「地域に根差した自然保護」開催趣旨 10:00-10:10

第一部 総論 10:10-11:40

マイケル・ロックウッド博士（タスマニア大学）
「オーストラリアにおける民間保護地域：成果と展望」

柴崎茂光博士（国立歴史民俗博物館）
「保護地域制度は地域社会にとって創造的破壊なのか？それとも破壊的創造なのか？」

ポスターセッションと昼食休憩 11:40-13:20

ポスターセッションフラッシュトーク
昼食休憩
ポスターセッションコアタイム

第二部 地域を主体とした自然保護活動 13:20-14:50

ゴンブ・タン博士（NPO Plateau Perspectives、チベット大学）
「第三極域（TPE）における地域コミュニティとのパートナーシップを通じた持続可能な社会の構築：三江源国立公園での包括的生物多様性保全活動」

河野円樹博士（綾町・ユネスコエコパーク推進室）
「地域とともに照葉樹林をまもる：綾ユネスコエコパークのこれまでとこれから」

第三部 地域と自然を結ぶエコツーリズム 15:00-16:20

ラルフ・バックリー博士（グリフィス大学）
「地域と自然を結ぶ懸け橋としてのエコツーリズム」

藤稿亜矢子博士（東洋大学）
「エコツーリズムと地域主体の自然保護の関係性：カンボジアの事例から」

総合討論 16:20-17:00

申し込み・問い合わせ先

筑波大学大学院自然保護寄附講座事務局
〒305-8571 つくば市天王台1-1-1
電話 029-853-6344 FAX 029-853-7099
電子メール nature@heritage.tsukuba.ac.jp
ウェブサイト http://www.conservation.tsukuba.ac.jp

2017/11/23(木・祝)
10:00-17:00

後援

日本自然保護協会
IUCN日本委員会
WWFジャパン
日本野鳥の会

主催：筑波大学大学院自然保護寄附講座